



平成 20 年 10 月 24 日

各 位

会社名 株式会社新日本建物  
 代表者名 代表取締役社長兼社長執行役員  
 村上 三郎  
 (JASDAQ・コード番号：8893)  
 問合せ先 専務取締役兼専務執行役員 管理本部長兼財務部長  
 壽松木 康晴  
 (TEL. (03) 6205-0705)

**平成 21 年 3 月期(連結・個別)第 2 四半期累計期間及び  
 通期の業績予想の修正に関するお知らせ**

平成 20 年 5 月 15 日付「平成 20 年 3 月期 決算短信」にて公表いたしました平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想の修正についてお知らせいたします。

## 記

## 1. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

## (1) 修正の内容

## 【連結】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	34,500	160	△160	△90	△2円69銭
今回修正予想 (B)	19,900	△1,650	△1,600	△1,440	△43円03銭
増減額 (B-A)	△14,600	△1,810	△1,440	△1,350	—
増減率 (%)	△42.3	—	—	—	—
(ご参考)前期中間期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	43,983	4,782	4,295	2,500	74円72銭

## 【個別】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	29,000	△230	△470	△410	△12円25銭
今回修正予想 (B)	14,900	△1,720	△1,580	△1,310	△39円15銭
増減額 (B-A)	△14,100	△1,490	△1,110	△900	—
増減率 (%)	△48.6	—	—	—	—
(ご参考)前期中間期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	37,462	4,549	4,573	2,703	80円80銭

## (2) 修正の理由

世界的な金融市場の混乱と信用収縮が、不動産事業に関わるプレーヤーの資金調達環境を激変させたことにより、特に投資用不動産の流通性が著しく低下するなど、不動産取引市場に多大な影響を及ぼしております。また、新築マンション・戸建住宅については、原材料の高騰、及び景気の先行き不透明感を背景に購入者の買い控え傾向が顕著となり販売期間が長期化するなど事業環境は厳しさを増しております。

今回の修正に関する売上高の主な減少要因は、上述のように期初の予想以上に市況が悪化したことにより、第2四半期累計期間で予定していた流動化事業の物件の販売・引渡し、顧客の資金調達が困難になるなどの理由によるもので2件、事業計画の見直しによるもので4件の9,936百万円が第3四半期以降に変更となりました。また、マンション販売事業・戸建販売事業につきましても、期初計画に比べ各々91戸・30棟が第3四半期以降にずれ込んだことによります。

営業利益、経常利益、四半期純利益の各減少要因としましては、マンション販売事業にかかる広告宣伝費等の抑制や有利子負債の圧縮により支払利息が減少した一方で、上述の売上高の減少に伴う売上総利益の減少などにより、連結・個別ともに業績予想を修正するものであります。

## 2. 平成21年3月期通期業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

### (1) 修正の内容

#### 【連結】

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	85,800	4,740	3,040	1,780	53円19銭
今回修正予想（B）	73,400	3,160	2,150	910	27円19銭
増減額（B-A）	△12,400	△1,580	△890	△870	—
増減率（%）	△14.5	△33.3	△29.3	△48.9	—
（ご参考）前期実績 （平成20年3月期通期）	82,217	5,110	3,977	2,017	60円28銭

#### 【個別】

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	76,900	4,430	2,920	1,530	45円72銭
今回修正予想（B）	64,500	3,000	2,180	770	23円01銭
増減額（B-A）	△12,400	△1,430	△740	△760	—
増減率（%）	△16.1	△32.3	△25.3	△49.7	—
（ご参考）前期実績 （平成20年3月期通期）	69,037	4,850	4,314	2,032	60円75銭

### (2) 修正の理由

期初より第3、第4四半期に引渡しを予定していた物件につきまして、流動化事業では「市ヶ谷プロジェクト」（東京都千代田区）をはじめ3件契約済みであり、また、マンション販売事業では「アクアリーナ川崎（全395戸 当社持分40%）」（神奈川県川崎市）、「パークシティさいたま北（全1,045戸 当社持分25%）」（埼玉県さいたま市）、「多摩センター ザ・パークウィング（全81戸 当社持分55%）」（東京都多摩市）などの販売契約が堅調に推移しており、概ね計画通りに進捗しています。一方で、流動化事業の一部の物件について事業計画の見直しを図り、販売時期を翌期以降に変更したことや、第2四半期累計期間の業績予想修正の影響も踏まえて、連結・個別ともに業績予想を修正するものであります。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な条件に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上